

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ビアンカ		
○保護者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 19(未回答4)
○従業者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所前に広場がある強みを活かし、様々な活動内容の設定をしています。	外遊びが好きな子供が多く、集団遊び(鬼ごっこ、ボール遊び、ごっこ遊びなど)を通して、ソーシャルスキルを身に付けます。 また、感性豊かな子供たちが多いため、四季折々の自然を楽しむ活動(お花見・昆虫採集・紅葉狩り・雪遊び等)も行ってまいります。	幅広い年齢の子供たちがいるため、参加する子供たち全員が無理なく楽しく参加できるような活動内容およびルール設定の考案を行ってまいります。
2	様々な媒体を通して、保護者様と日々の活動の様子や子供たちの心身の状況をお伝えしています。ご家庭とも連携しながら、個別支援計画および日々の活動計画の策定を行っております。	連絡ノートやビアンカ通信、SNS等を通して、仕事でお忙しくされているご家庭にも子供たちの様子がお伝えできるように工夫しております。定期的な面談だけでなく、臨時的な面談や電話での相談も受け付け、保護者様や子供たちの困りごとに迅速かつ丁寧に対応しています。	今後も、ご家庭との情報共有を丁寧に行いながら、子供たちが安心して来所できる環境を整えてまいります。
3	職員の人員配置が充実しており、さらに一人ひとりの勤続年数も長く安定しているため、子供たちも安心して来所することができ、信頼関係の構築にも繋がっています。	特定の職員が特定の子供を見守るといったような固定をせず、その日の状況に応じて職員全体で子供たちの様子を観察しています。そして、業務日誌やミーティング、そして普段の会話の中でこまめに情報共有し、より良い支援に繋がっていきます。	今後も引き続き、職員間での情報共有を行いながら、支援の質の向上に努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館など、地域の他のこどもと活動する機会が少ない。	・事業所の所在地のある地域が少子化が進んでおり、子供の母体数が少ないため。 ・来所する子供たちを最優先で考えると、関わったことのない地域児童との活動に不安感を覚える子供もいる可能性があるため。	昨年参加した近隣大学の子供対象のイベント等の地域の情報収集に力を入れ、来所する子供たちやご家庭の意見を踏まえた上で、検討してまいります。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会を設けることができていない。また、ご家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や研修会の機会の確保ができていない。	・共働き家庭が多い中でご家族で過ごす時間もあることから、日程の調整等が困難であるため。 ・きょうだい児の多いご家庭も多く、参加率の確保が難しいことも予想されるため。 ・ご家庭によって住んでいる場所も近くはなく、開催日時、場所、参加費、移動手段など、検討する点が多いため。	まずは、アンケートや面談にて、ご家庭のニーズの把握をする必要があると考えます。そこで得たご意見も踏まえた上で、実施を検討してまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス ピアンカ

公表日 令和8年3月3日

利用児童数 23

回収数 19(未回答4)

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19				ご見学時に、入所時のご説明に加え、実際に室内や広場の様子をご覧いただけます。今後、十分な活動スペース確保に努めます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18		1		今後も子どもたち一人ひとりに適切な支援が行き届くように、十分な職員配置を行ってまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	2		2	学習は/バージョン内のテーブルで行うなどの構造化を図り、子供たちもスムーズにそのテーブルで宿題を始めることができています。今後も環境整備に努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	2			子供たちが心地よく過ごせるように、日々の消毒作業や清掃を実施しています。今後も、引き続き子供たちが活動に応じて心地よく過ごせる環境設定に努めてまいります。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	2			今後も職員間でのミーティング等を通して、子どもたち一人ひとりへの支援の質を高めることに努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19				今後も支援プログラムと具体的な支援内容について、連絡ノートや個別面談等を通してきちんとお伝えします。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19				今後も子どもや保護者様のニーズを十分に把握・分析し、適切な支援計画の作成に努めてまいります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	2		1	今後も法に基づいた支援計画を作成し、ニーズに沿った具体的な支援内容を設定させていただきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	2			今後も放課後等デイサービス計画に沿った、適切な支援を行うように努めてまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18			1	活動プログラムが固定化されないよう、子供本人の願いも汲み取りながら、充実した活動プログラムの実施に努めてまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	4	9	近隣の大学が開催した子供対象のイベントへの参加など、本人も楽しんで帰宅しました。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19				今後もご不明点がないよう、丁寧な説明を行ってまいります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19				今後も丁寧な支援内容の説明を行ってまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10		3	6	今後も保護者様との定期的な面談等を行い、ニーズに応じた情報提供を行ってまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	19				日々、連絡ノートを通じて、その日の子供の様子をお伝えしています。今後も継続してお伝えしていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19				定期的な面談だけでなく、ニーズがあった際には臨時でも面談を設けています。今後ともご家庭への支援にも努めてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19				今後もご家庭のお困りごとや願いの把握を行い、共感的な支援に努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6		4	9	年齢や校区、利用目的も色々だと思うので、無理にアプローチしなくてもよいのかなと個人的には思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	2		2	ご家庭からの相談があった際には、迅速に対応し、電話や面談等を行ってまいります。今後も、迅速かつ適切な対応に努めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	2			ご利用開始の際に、事業所のLINEを登録していただき、情報伝達を随時行っております。今後も同様に取り組んでいきます。
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19				ピアンカ通信やホームページ、SNS等の様々な媒体を通して、日々の様子をお伝えしており、今後も継続して取り組んでいきます。	

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19					今後も十分に留意して取り組んでいきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11		2	6		毎年定期的に避難訓練を実施しています。マニュアルの周知については、お便りを作成する等、方法を検討してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	2		6		避難訓練で災害が起こったときの対応や避難経路の確認を実施しております。23と同様、今後も定期的に取り組んでいきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17			2		今後も子どもの安全確保を十分に行ってまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17			2		怪我等があった際には、職員間で役割分担をして、ご家庭への連絡、子供の様子の観察、状況に応じた救急車要請など行っております。今後も同様に取り組んでいきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19				ピアンカが心の支えになっているくらい、とっても楽しんで安心しています。	これからも子供たちが安心して通所していただけるよう、環境整備に努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19				ピアンカが心の支えになっているくらい、とっても楽しんで安心しています。	これからも子供たちが通所を楽しみにしていただけるよう、イベントの企画や支援プログラムの工夫に努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19				ピアンカが心の支えになっているくらい、とっても楽しんで安心しています。	これからも子供たち一人ひとりに十分な支援が行き届くよう、ご家庭との共通理解のもと、支援を実施していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス ピアンカ		令和8年 3月 3日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		室内だけでなく、事業所前の広場も活用し、子供たち一人ひとりの活動にあったスペースを確保できています。	外で体を動かす活動を行う場合に怪我のリスクがどうしても高くなってしまいうため、環境調整や職員配置を今後も引き続き十分に行っていきたいと考えています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・十分な職員数を配置できています。 ・職員を固定化せず、その日その状況に応じた職員の見守り体制が取れています。	・職員一人一人の支援の質の向上や自己研鑽の機会の確保に努めています。 ・送迎のタイミングが重なりと一時的に、職員の目が少なくなるときがあるのが課題です。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・学習と遊びのスペースをパーテーションで区切り、各々の活動に集中しやすい環境設定をしています。 ・来所してからの行動の流れをルーティーン化し、子供たちが見通しをもって活動できるように工夫しています。	建物の構造上バリアフリーにできない点もあるため、今後も引き続き可能な限りの環境調整に努め、子供たちが安心して過ごせるようにしていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・感染症対策の一環として、前日に使っていた玩具や室内および車内の消毒・清掃作業を毎日行っています。 ・空気清浄機や加湿器等も設置しています。	事業所前の広場は地域住民も利用しているためゴミ等が落ちており、子供たちの来所前に怪我や事故に繋がるものがないか確認が必要な場合があります。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・必要に応じて、2階の静かなスペースや1階にも個室を用意しており、学習に集中しにくい場合はそこで学習することもできます。 ・クールダウンも兼ねて広場の散歩を職員と行うことも可能です。	今後も引き続き、子供たちが安心して過ごせるような環境整備に努めています。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	定期的なミーティングにおいて、日々の振り返りを行い、業務改善を行っています。	今後も広く職員が参加できるミーティングの確保等に努め、業務改善を進めてまいります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		評価表の回答を集計し、「はい」の数が少なかった項目について、職員で現状分析と課題解決のための手立てを話し合っています。	今回の結果を踏まえて、課題解決のための具体的な策について、職員間で検討します。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・定期的なミーティングでは、気になる子供の支援について意見交換も行っています。 ・イベント終了後に改善点を話し合い、次のイベント企画時に活かしています。	今後とも職員同士の意見交換を行い、業務改善に努めてまいります。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4	第三者評価は受けておらず、他事業所と情報交換を行い、事業所の業務改善に繋げています。	今後、必要に応じて第三者評価を受けることは検討しますが、引き続き他事業所との情報交換を行い、事業所の業務改善に繋げます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	強度行動障害の研修等、職員の資質向上のための機会確保をしています。	今後も引き続き、職員のスキルアップのための研修を増やしていきます。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		ホームページにて、公表済みです。さらに、利用契約時にも支援プログラムについて説明しております。	今後も支援プログラムの適切な作成・公表に努めます。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・職員間でのミーティングで、子供たち一人ひとりに関するアセスメント・モニタリングを行っています。 ・保護者との定期的な面談でニーズや課題の把握・分析を通して放課後等デイサービス計画の作成しています。	今後も継続して取り組んでいます。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	職員間での定期的なミーティングを通して、個々の子供の支援について多角的に検討し、放課後等デイサービス計画を作成しています。	今後も継続して取り組んでいます。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		定期的なミーティングで放課後等デイサービス計画を職員間で共有し、計画に沿って支援について振り返りを行っています。	今後も継続して計画に沿った支援を行います。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		モニタリングシートや業務日誌等、複数のツールを用いて、子供の状況を全職員が記録し・確認できるようにしています。	今後も継続して取り組んでいます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		必要な項目を適切に設定し、具体的な支援内容も記載しています。	今後も継続して取り組んでいます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		定期的なミーティングを通して、支援計画に基づいた活動プログラムの立案を職員全体で検討・実施している。	今後も継続してチームで活動プログラムの立案を行います。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		子供たちの興味関心や主体性の尊重のため、活動プログラムは敢えて固定していません。その日の子供に応じて工作の材料を増やす、新聞紙ボールを作っておく等、より多くの選択肢の中から活動を選べるように準備しています。	今後も活動プログラムが固定化しないよう、環境整備・活動内容の検討をしていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		子供の状況に応じて個別活動・集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援しています。	今後も子供の状況に応じた放課後等デイサービス計画の作成と支援に努めています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	子供たちの来所前に職員間で話し合いを行い、その日の子供に応じた支援内容や役割分担を検討しています。さらに、前日の子供の様子も共有し、その日の支援に繋がっています。	今後も定期的なミーティングを実施し、チームとして連携を深めています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	支援終了後や翌日の支援実施前に職員間で打ち合わせを行い、気付き等を共有しています。	今後も継続し取り組んでいます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・毎日、業務日誌に記録を残しており、全職員が閲覧できるようにしています。 ・アセスメントシートに気付きを残し、ミーティング時にはそれを踏まえて支援の検証・改善に繋がっています。	今後も記録を徹底し、支援の検証・改善に繋がっています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的にモニタリングを行い、達成度のチェックや現在の状況、今後の支援について職員間で検討し、適切な見直しを行っています。	今後も定期的にモニタリングを実施し、放課後等デイサービス計画の適切な見直しを行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	1	「4つの基本活動」をベースとして、個々の子供に応じた支援を行っています。	今後も「4つの基本活動」に基づいた支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		敢えて活動内容をごちから確定せず、子供たちの興味関心をもとにした主体的な活動内容の選択を尊重しています。選択・決定の場面では、職員が見守り、声掛けや視覚的補助等を行い、安心して選択・決定できるようにしています。	今後も子供の自己選択・自己決定力が育まれるよう、支援を行っています。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		基本的に外部との会議には、児童発達支援管理責任者や管理者が出席するようにしています。	今後も同様に取り組んでいます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	必要に応じて、関係機関と連携できる体制を整えています。	今後も同様に取り組んでいます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		電話や直接的なやりとりにて、学校との情報共有を行っています。さらに、学校の先生に事業所での子供の活動の様子を見学していただき、連携をより深めています。	学校の仕組み上、年度毎に担任の先生が変わることがほとんどのため、継続したやりとりができていない場合があります。継続して学校との情報共有ができるよう、事業所からも電話や送迎時の直接的なやりとり等で学校と情報交換の機会を確保できるよう努めます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	就学前の情報は主に保護者との面談時にヒアリングしています。必要に応じて、書類や電話等のやり取りにて、情報共有をいただいています。	今後も同様に取り組んでいます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	今年初めて卒業生が出るため、支援内容等を提供する準備は行っています。	今年初めての障害福祉サービス事業所への移行になるので、今年の経験を活かし、次回に繋がっていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	地域の児童発達支援センターとの連携は現在のところは行っていません。	今後、必要に応じて検討していきます。

	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	現時点では、地域の子供たちとの交流の機会は設けておりません。	今後、必要に応じて検討していきます。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	7		地域のこども部会に参加しています。	今後も積極的な参加に努めていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		定期的な面談に加えて、連絡ノートや送迎時に保護者にお会いした際に、その日の様子をお伝えしています。	今後も保護者と子供の状況を伝え合い、信頼関係を築き、共通理解を持って支援を行っていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	保護者に対する研修は行っていませんが、定期的な面談で助言をさせていただいております。	今後、必要に応じて保護者に対する研修に実施も検討していきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		利用契約時や法改正時に説明をしています。	今後も同様に丁寧な説明を行っていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・定期的な面談で、子供や家族の意向を確認しています。 ・保護者からのご要望があれば、いつでも面談や電話にてお話を伺っています。	今後も継続して、子供やご家族の意向を確認する機会の確保に努めます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		利用契約時や支援計画の更新時期の面談で、支援内容の説明を行い、保護者からの同意を得たうえで、支援を行っています。	今後も継続して取り組んでいきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		ご要望があった際に、面談や電話にて相談に応じ、助言・支援を行っています。	今後も、保護者からの相談に適切に応じ、助言・支援します。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	4	現在は保護者会の開催等は行っていません。	今後、保護者のニーズがあれば、実施を検討します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		迅速かつ適切に対応する体制は整えています。	今後も継続して苦情対応の体制を整えます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		主にSNSで日々の様子をお伝えしており、イベント後はピアソン通信を作成し、イベント時の様子をより詳しくお伝えしています。	今後も、SNSやピアソン通信を活用し、日頃の様子や行事予定について発信していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報の取り扱いには留意しています。	今後も同様に個人情報の取り扱いに留意します。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		電話や面談だけでなく、LINEでも情報伝達を行っており、迅速かつ手軽に意思疎通ができるよう努めています。	今後も継続して適切な情報伝達を行います。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	行事に地域住民を招待したことはありませんが、日頃子供たちが過ごしている広場は地域住民も利用する場であり、そこで地域住民と挨拶を交わしたり、昆虫を譲っていただく等の当事業所ならではの地域との関りがあります。	今後必要に応じて、地域住民の行事への招待について検討します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	各マニュアルを策定していますが、保護者への周知がまだ不十分であり、方法を検討中です。訓練は定期的実施しています。	保護者へのマニュアルの周知方法について、再度検討します。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	BCPを策定し、定期的な訓練を行っています。	今後も継続して取り組んでいきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		利用契約時に服薬等の確認を行っています。それ以降も、状況に応じて服薬等の確認を都度行っています。	今後も継続して取り組んでいきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		利用契約時にアレルギーについても確認を行っており、おやつを用意するコーナーにアレルギー表を設置する等の対応をとっています。	今後も継続して取り組んでいきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を作成し、安全管理を十分した環境で支援を行っている。	今後も継続して取り組んでいきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		利用契約時に緊急時の対応等の安全計画に基づいた取組について、説明しています。	今後も継続して取り組んでいきます。
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	7		ヒヤリハットを発生時に記録・共有したのち、再発防止策について職員間で検討しています。	今後も継続して取り組んでいきます。	

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	2	職員間で支援について話し合うミーティングを行っていますが、虐待防止の研修の機会はまだ安定していません。	今後、虐待防止研修の機会を安定して確保していく体制を整えます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		現在、必要とする子供がいないため、身体拘束をすることはありません。	今後、必要に応じて身体拘束について組織的に検討します。